

日本国際政治学会2012年度研究大会 共通論題・部会プログラム
(2012年10月1日現在)

10月19日 (金)

午後の部会 (13:00~15:30)

- 部会1 中東・北アフリカの政治変動と国際社会** [131+132]
- 司会 池田明史 (東洋英和女学院大学)
- 報告 池内恵 (東京大学)
「アラブ諸政権の崩壊と持続——様式と要因」
片岡貞治 (早稲田大学)
「リビア内戦と国際社会」
泉淳 (東京国際大学)
「中東の政治変動における米国の役割」
- 討論 酒井啓子 (千葉大学)
大津留 (北川) 智恵子 (関西大学)
- 部会2 日本の国際政治学——学会のあり方と学問のあり方 【協賛：日本学術会議】** [133+134]
- 司会 古城佳子 (東京大学)
- 報告 石田淳 (東京大学)
「逆説と不合理の国際政治学——国際関係論における知の構図」
李鍾元 (早稲田大学)
「日本の国際政治学における理論と歴史」
林忠行 (京都女子大学)
「地域研究からみる日本国際政治学会」
- 討論 大芝亮 (一橋大学)
鈴木基史 (京都大学)
- 部会3 アメリカと集団的安全保障——冷戦・核・インテリジェンス (自由論題部会)** [231]
- 司会 伊東孝之 (早稲田大学)
- 報告 西田竜也 (広島市立大学)
「集団防衛同盟としてのWestern Unionの意義と限界
——英米の戦略の交差するところ」
有江浩一 (防衛大学校)
「冷戦期のNATOにおける核共有と拡大抑止の関係性」
高橋慶吉 (大阪大学)
「アメリカの『2つの中国』政策——その形成と構造」
小林良樹 (慶應義塾大学)
「政治とインテリジェンスの関係」
- 討論 佐々木卓也 (立教大学)
金子讓 (防衛研究所)

部会4 国際社会と国家構築——介入・支援・移民（自由論題部会） [232]

司会 稲田十一（専修大学）

報告 小松志朗（早稲田大学）・角田和広（明治大学）

「人道的介入の実効性と国益——冷戦後の事例と英国学派の理論を手がかりに」

鍋島孝子（北海道大学）

「JST-JICAプロジェクト『コンポスト・トイレをアフリカ農村に入れる』

——ポスト・モダンの農民アクターへの学際的アプローチ」

古地順一郎（在カナダ日本国大使館）

「カナダ・ケベック州の移民・マイノリティ統合政策の変容——1980年代を中心に」

討論 稲田十一（専修大学）

篠田英朗（広島大学）

加藤普章（大東文化大学）

部会5 トランスナショナルな脅威とナショナルな安全保障 [233]
——違法薬物の国際取引をめぐって

司会 伊藤剛（明治大学）

報告 二村久則（名古屋大学）

「メキシコ『麻薬戦争』とその政治的影響」

福海さやか（亜細亜大学）

「タイにおける麻薬密輸とその脅威」

小田桐確（慶應義塾大学）

「NATOと麻薬対策——アフガニスタンの事例を中心に」

討論 武田康裕（防衛大学校）

本名純（立命館大学）

分科会セッションA（15：45～17：15）別掲

分科会セッションB（17：30～19：30）別掲

10月20日（土）

午前の部会（9：30～12：00）

部会6 アメリカのアジア太平洋シフトの検証 [131+132]

司会 中山俊宏（青山学院大学）

報告 高原秀介（京都産業大学）

「アメリカの東アジア政策の史的展開——『理念外交』の系譜を中心に」

湯澤武（法政大学）

「東南アジア主要国から見た米国のアジア太平洋リバランス

——政治・社会変革の影響」

森聡（法政大学）

「アメリカのアジア太平洋シフトの実相」

討論 高原明生（東京大学）

滝田賢治（中央大学）

- 部会7 「保護する責任」論再考** [133+134]
- 司会 滝澤美佐子 (桜美林大学)
報告 清水奈名子 (宇都宮大学)
- 「『保護する責任』と国連安全保障体制——法的問題の考察」
立山良司 (防衛大学校)
- 「『アラブの春』と『保護する責任』——リビアとシリアの比較」
佐藤章 (日本貿易振興機構アジア経済研究所)
- 「国連のコートジボワール介入に対するアフリカ諸国の『合意』をめぐって」
討論 青井千由紀 (青山学院大学)
伊能武次 (和洋女子大学)
- 部会8 東アジアの選挙民主再考** [222]
- 司会 増山幹高 (慶應義塾大学)
報告 浅羽祐樹 (山口県立大学)
- 「『自由民主』と韓国憲法裁判所——外交政策の法化と日韓関係の変容」
松本充豊 (天理大学)
- 「台湾における大統領・議会関係と政党ガバナンス」
鈴木隆 (愛知県立大学)
- 「中国における『選挙民主主義』の現状と『中国的民主主義』のゆくえ」
討論 岩崎正洋 (日本大学)
藤原帰一 (東京大学)
- 部会9 資源をめぐる国際政治——中国とアフリカを軸に** [232]
- 司会 岩下明裕 (北海道大学)
報告 土屋貴裕 (防衛大学校)
- 「中国の国家戦略における資源政策」
平野克己 (日本貿易振興機構アジア経済研究所)
- 「中国版『マーシャルプラン』とアフリカの変容」
高橋基樹 (神戸大学)
- 「アフリカにおける資源をめぐるポリティカル・エコノミー——包摂的開発のための歴史的考察——」
討論 堀本武功 (京都大学)
遠藤誠治 (成蹊大学)

部会 10 日韓安全保障協力——擬似同盟論の再検討【日韓合同部会】 [233]

(使用言語：日本語、一部英語)

- 司会 Ahn Yinhay (韓国国際政治学会会長)
報告 金珍基 (Kim Jin Ki) (釜慶大学)
「東アジア安保秩序の変化と日韓安保協力」
陳昌洙 (Jin Chang Soo) (世宗研究所)
「北東アジアにおける日韓安保協力の意義と限界」
阪田恭代 (神田外語大学)
「『擬似同盟』としての日韓安全保障協力——現況と展望」
討論 道下徳成 (政策研究大学院大学)

部会 11 大量破壊兵器の不拡散をめぐる北朝鮮、中国、米国、EUの政策 [234]

- 司会 納家政嗣 (青山学院大学)
報告 倉田秀也 (防衛大学校)
「北朝鮮の核開発と核兵器国の義務」
梅本哲也 (静岡県立大学)
「米中関係と大量破壊兵器不拡散」
植田隆子 (国際基督教大学)
「EU の大量破壊兵器不拡散政策」
討論 吉崎知典 (防衛研究所)
秋山信将 (一橋大学)

分科会セッションC (13:30~15:10) 別掲

総会 15:10~15:40

[センチュリーホール]

【共通論題】 グローバル不況と政治変動

15:40~18:30

[センチュリーホール]

- 司会 竹中千春 (立教大学)
報告 飯田敬輔 (東京大学)
「開放マクロ経済と政治変動——理論と実証」
遠藤乾 (北海道大学)
「ユーロ、EU、世界—いったい何の危機なのか?—」
末近浩太 (立命館大学)
「グローバル不況と中東の政治変動」
劉傑 (早稲田大学)
「中国モデルの再模索——改革か伝統への回帰か」
討論 山本吉宣 (東京大学)

懇親会 19:00~20:30

[レセプションホール]

10月21日（日）

分科会セッションD（9：30～11：00）別掲

分科会セッションE（11：15～12：45）別掲

午後の部会（14：00～16：30）

部会12 EUガバナンスの射程 [221]

司会 渡邊啓貴（東京外国語大学）

報告 福田耕治（早稲田大学）

「欧州債務危機と EU 社会保護ガバナンス」

八十田博人（共立女子大学）

「イタリア実務家政権の財政危機対応——新たな EU ガバナンス形成のなかで」

児玉昌己（久留米大学）

「EU ガバナンスの危機と連邦主義的対応

——ユーロ危機と欧州議会選挙での対応を事例に」

討論 渡邊啓貴（東京外国語大学）

森井裕一（東京大学）

部会13 「地域抑止」の現状と課題 [222]

司会 川上高司（拓殖大学）

報告 福田毅（衆議院事務局）

「アメリカの安全保障政策における『地域抑止』の位置づけ

——冷戦後の抑止戦略と前方展開戦略の変容」

松永泰行（東京外国語大学）

「湾岸・中東地域における『地域抑止』態勢と域内ダイナミズム」

高橋杉雄（防衛研究所）

「北東アジアにおける『地域抑止』——動的抑止と戦略核抑止の連関性」

討論 柴山太（関西学院大学）

安田淳（慶應義塾大学）

部会14 脱植民地化・冷戦・同盟 [232]

司会 木畑洋一（成城大学）

報告 永野隆行（獨協大学）

「イギリスの東南アジア政策——脱植民地化と英米豪同盟関係の展開」

池田亮（関西外国語大学）

「チュニジア・モロッコの脱植民地化と仏英米関係」

藤井篤（香川大学）

「アルジェリア戦争とアメリカ国務省——脱植民地化をめぐる仏米関係」

討論 小川浩之（東京大学）

都丸潤子（早稲田大学）

- 部会15 日本の対中外交40年** [133+134]
- 司会 五百旗頭真 (熊本県立大学)
- 報告 添谷芳秀 (慶應義塾大学)
- 「日中国交正常化を振り返る——1970年代の日中関係にみる両国外交の異質性」
神田豊隆 (早稲田大学)
- 「1980年代の冷戦と日本の対中外交——中曽根政権を中心に」
益尾知佐子 (九州大学)
- 「日本の安全保障政策における中国——40年間の変化と今後の方向性」
- 討論 五百旗頭真 (熊本県立大学)
波多野澄雄 (ハーバード大学)

- 部会16 人道援助の国際政治学【市民公開講座】** [234]
- 司会 星野俊也 (大阪大学)
- 報告 上野友也 (岐阜大学)
- 「自然災害と被災者支援——国際防災学の再発見」
山下光 (防衛研究所)
- 「新人道主義とポスト冷戦期の世界政治——人道援助の危機を契機として」
奥田太郎 (南山大学)
- 「人道支援の倫理——博愛か偏愛か」
- 討論 吉川元 (上智大学)